目　　次

I. 総括研究報告
効果的かつ有効性の高い集団精神療法の施行と普及および効果検証のための研究- 1
藤澤大介

II. 分担研究報告
1. 集団認知行動療法の研修体制の確立と研修効果の測定に関する研究--------- 12
藤澤大介　久我弘典　菊地俊暁　佐藤泰憲

2. 医療者に対するマインドフルネス療法（マインドフルネス認知療法）ワークショップ (Teaching Foundation) の実施可能性の検証とマニュアルの作成、および長期効果に寄与する因子の特定に関する研究---------- 24
佐渡充洋

3. 双極症への短期集団認知行動療法プログラムの開発に関する研究---------- 38
岡田佳詠

4. 不安症および併存疾患に対する認知行動療法の統一プロトコルによる集団療法と強迫症に対する集団認知行動療法の実証研究---------- 43
伊藤正哉

5. 精神症へのリカバリーを目指す集団認知行動療法の実施可能性の検討に関する研究---------- 50
耕野敏樹　久我弘典

III. 研究成果の刊行に関する一覧表---------- 57

IV. 資料
（資料1）集団精神療法プログラム立ち上げのためのチェックリスト（案）---資料1
（資料2）不安症に対するマインドフルネス療法（マインドフルネス認知療法）実施マニュアル））----------資料5
（資料3）双極症とうまくつきあうための短期集団認知行動療法----------資料79
（資料4）医療観察法病棟における集団リカバリーをめざす認知療法マニュアル. ver.1：岡山県精神医療センター版----------資料99
（資料5）集団CT-R リカバリープログラム----------資料177